

## 地域おこし協力隊が着任 10/1

中山間地域の活性化に取り組む「地域おこし協力隊」として、狩野里紗さん(吉川区川谷地区)が着任し、市長から辞令交付を受けました。

狩野さんは「お米を食べることが好きで、そのお米を自分で作ってみたいと思い応募した。農作業の経験はないが、地域の皆さんにお世話になりながら、自分のペースで頑張りたい」と抱負を語りました。狩野さんはこれから地域の担い手として、棚田の維持・管理や地域づくりビジョン「川谷もより 百笑百年物語」の取り組み支援などに取り組みます。



## 第185回 北信越市長会総会 10/10、11



北信越5県(新潟、富山、石川、福井、長野)69市の市長が一堂に集まる会議が25年ぶりに本市で開催されました。会議では、各県市長会から提出された地方行財政の拡充強化、都市基盤施策の充実強化と交通網の整備促進など全25件の議案のほか、石川県奥能登地域の豪雨被害に関する緊急決議などを採択し、国へ要望していくことを決定しました。

## 上越市総合防災訓練 10/12

上中越沖を震源とする震度6強の地震が発生した想定で、直江津屋台会館などを会場に訓練を行いました。訓練には、直江津区の29町内会と42の防災関係機関・団体が参加し、元日の能登半島地震を踏まえ町内会単位で見直しを行った、津波災害の「地域別避難行動計画」に基づいた徒歩による避

難や要配慮者などに限定した自動車による避難のほか、関係機関が連携した炊き出し・給水支援などの訓練を行いました。

訓練終了式で市長は、「市民の皆さん一人一人が災害を知り、備えることができるよう、行政としてしっかり支援していく」と話しました。

